

I 全体評価

- 様々な施策の実施を通じて、不安の解消や社会的な課題の解決を行いながら、生活の満足度や社会の質の向上に努めた結果、平成26年度末の目標達成に向けておおむね順調に推移
- 策定後の変化を踏まえ、高齢者などの暮らしを支える仕組みづくりや県民の生命や生活を守る対策に引き続き取り組むとともに、新たな課題に対応していくことが必要

31成果指標の達成度

75%以上: 18指標
 50%以上: 7指標
 25%以上: 0指標
 25%未満: 5指標
 算出不能: 1指標

[総点検について]

- 基本構想の計画期間が平成26（2014）年度末に満了
- 人口減少社会の到来、東日本大震災をはじめ、基本構想策定後に生じてきた社会経済状況の変化を踏まえ、取組施策の成果と課題を整理
- 基本構想の総点検として取りまとめ、今後の政策や施策の検討につなげる

II 長期ビジョン編の総括

人口減少社会の到来と少子高齢化の進行

- ① 2015年をピークに本県も人口減少社会の到来
- ② 高齢化が一層進行し、認知症や要介護者の増加、高齢単独世帯の増加、在宅医療・介護の需要が増大
- ③ 少子化が一層進行し、地域の暮らしや社会資本の維持、労働力の確保など、社会・経済の構造に影響

1 取り巻く現状

- (1) 健康
 - ① 生活習慣病が増加、女性の健康寿命が全国最下位、自殺者数が高い水準で推移
 - ② 医師等の地域偏在と不足感
 - ③ 要介護認定者が増加
- (2) 働く
 - ① 若者の早期離職と低い年収
 - ② 女性の非正規化と労働力率の低さ
 - ③ 高齢者の65歳までの安定した雇用の確保
- (3) 住む
 - ① 自然災害等の発生、不安の高まり
 - ② 高齢者が関わる交通事故や犯罪の増加
 - ③ 路線バスなど公共交通機関の減少
- (4) 学ぶ・育てる
 - ① 全国学力テスト正答率が全国平均を下回る傾向
 - ② いじめの増加と不登校児童の高い在籍率
 - ③ 働く女性の増加に伴う放課後児童クラブの不足
- (5) 楽しむ
 - ① 余暇時間の増加とスポーツへの関心の高まり
 - ② 生涯学習やボランティア活動等への関心の高まり
- (6) つながる
 - ① 少子高齢化による単独世帯の増加と家族のつながりの希薄化
 - ② 地域のつながりの希薄化
- (7) 経済・産業
 - ① 人口減少に伴う市場縮小
 - ② 企業数に占める中小企業の割合が極めて高い
 - ③ 総農家数が減少、耕作放棄地が増加
- (8) 環境
 - ① 琵琶湖の水質は改善、一方、漁獲量は減少
 - ② 鳥獣被害による森林の土砂流出と植生の衰退
 - ③ 地球温暖化の進行とCO2排出量の増加
- (9) 県土
 - ① 地震災害の危惧や異常気象による災害の発生
 - ② 高度経済成長期の公共施設が老朽化
 - ③ 新名神、リニア中央新幹線等の開業が予定

2 現状を踏まえた今後の課題

- (1) 健康
 - ① 生活習慣病や精神疾患など心と体の健康への対策
 - ② 病院常勤医の確保、周産期や救急等の医療体制整備
 - ③ 在宅医療・介護の推進と人材確保など総合的な取組
- (2) 働く
 - ① キャリア教育や就労支援等の充実
 - ② 女性の働く場への参画拡大と環境整備
 - ③ 高齢者の知識や経験の活用
- (3) 住む
 - ① 適正な河川管理など災害に強いまちづくり
 - ② 高齢者等を犯罪や消費者被害から守る対策
 - ③ 高齢者等にやさしいまちづくり
- (4) 学ぶ・育てる
 - ① 学校と家庭の連携による学習習慣の定着
 - ② いじめ・不登校問題等への対応
 - ③ 保育所や放課後児童クラブ等の充実
- (5) 楽しむ
 - ① スポーツの推進
 - ② 地域資源を活用した生きがいづくり
- (6) つながる
 - ① 地域社会での異年齢交流の促進
 - ② 誰もが居場所があり、活躍できる場づくり
- (7) 経済・産業
 - ① 地域資源を活用した持続的な地域経済の構築
 - ② 技術力等を活かした中小企業の活性化
 - ③ 農業の担い手の確保・育成と経営の多角化
- (8) 環境
 - ① 琵琶湖流域生態系の保全・再生
 - ② 森林の多面的機能の維持・発揮
 - ③ 低炭素社会の実現に向けた取組の推進
- (9) 県土
 - ① 危機管理体制の強化、リスクに備えた安全なまちづくり
 - ② 老朽化した社会資本の計画的な維持・更新
 - ③ 新たな国土軸の活用方策の検討

III プロジェクト編の総括

今後の課題

- (1) 子育て・子育て支援プロジェクト
 - ① 周産期医療の地域偏在など医療体制整備の充実
 - ② 発達障害、児童虐待など支援体制の充実
 - ③ いじめをなくすための地域一体となった取組
- (2) 働く場への橋架けプロジェクト
 - ① 若者に対する人材育成・就労支援の継続
 - ② 正規就業促進など産業化と連携した就労支援
 - ③ 女性、高齢者等の潜在力を活かす取組
- (3) 地域を支える医療福祉・在宅看取りプロジェクト
 - ① 医療専門職の継続的な人材確保
 - ② 病病診・在宅医療介護の連携、介護予防の仕組みづくり
 - ③ 健康づくりの支援と健康寿命の延伸
- (4) 低炭素社会実現プロジェクト
 - ① 二酸化炭素排出量の抑制
 - ② 太陽光発電システムの導入の促進
 - ③ 地域分散型のエネルギー供給の方策検討
- (5) 琵琶湖の再生プロジェクト
 - ① 流域全体での生態系の継続的な保全・再生
 - ② 人と野生鳥獣が共存できる森林対策
 - ③ 環境問題の広域化・複雑化への対策
- (6) 滋賀の未来成長産業プロジェクト
 - ① 水環境ビジネス推進の充実
 - ② 健康管理・医療に関する分野の産業の育成
 - ③ 生産年齢人口減少に対応した労働力の確保
- (7) 地域の魅力まるごと産業化プロジェクト
 - ① 地産地消の取組のさらなる拡大
 - ② 地域ブランドの創造と発進、確立
 - ③ 「美の滋賀」づくりの取組の戦略的な実施
- (8) みんなで命と暮らしを守る安全・安心プロジェクト
 - ① 市町と連携した地域防災力の向上
 - ② 水害・土砂災害に備えた総合的な治水対策
 - ③ 老朽化した社会資本の計画的な維持・更新